



## 第25回対馬少年の主張大会最優秀作品

# 未来は・・・

豆酸中学校2年 <sup>かつ</sup> <sup>い</sup> <sup>ふく</sup> 勝井 福

僕は現在、父と2人で対馬の南端、豆酸に暮らしています。父は料理上手で、お弁当の日はなかなかごちそうをこしらえてくれる、まめな父です。しかし早朝の仕事に出かけることが多く、日常生活は僕が自分で何とかしなければならないのですが、実は、朝起きるのがどうしようもなく苦手です。起きなくちゃいけないと心の底から思うのですが、体がなかなかいうことを聞いてくれません。怠け者だと思われても仕方ないとわかっているのですが、僕はどうやら心と体を合致させることが、得意ではないようです。勉強することは、むしろ好きです。知識を得ることに喜びも感じます。しかし、日々の生活をちゃんと送れるかと問われると、情けないけど、けっこう心配です。進学後の長距離通学やその後の1人暮らしのことを考えると、さらにこの不安は増大します。

ご存じのとおり、僕の通う豆酸中学校は今年度いっぱい閉校することが決まりました。豆酸地区の方をはじめ、いたるところで多くの人々から「残念だね」「大変だね」と声を掛けられることが増えました。同級生の仲間は全部で4名。4月から新たな学校で受験生として新しい生活をスタートさせることは、残念で、大変なことなんだと思うと、ここにも不安材料が山積です。

こんなもやもやは僕の周りだけなのかと思いたいのですが、どうやら視野を広げてみても、世の中は安穏としてはいないようです。日ごとに寂しさを増す地域社会、あふれすぎる廃棄物、喜怒哀楽が混在するインバウンド現象、さらに、目を見張るような物価高、子供が少ない高齢化社会、減り続ける人口、そして閉校になる母校・・・、いったい僕の未来は、僕らの未来はどうなるのでしょうか。

ある時、解けない数学の問題に向かう友達に、ちよつとした公式を教えました。こう見えて、勉強は嫌いではありません。で、一緒に問題を解いたり、さらに解きにくい問いを教えたりしていると、なんだかこれって悪くないなと思ったのです。僕の混沌とした未来に一筋の光が見えた瞬間です。人に教えることってけっこう楽しいかも・・・。これが、「学校の先生」という職業に興味をもったきっかけです。

先生という仕事は、朝は早いし、教科のことだけ

じゃなく、僕みたいな生徒の相手もしなければならぬ、煩雑で忙しそうに見え、後ろ向きな僕にとって、決して魅力あふれる仕事には見えていませんでした。でも、実際に自分が教える役をやってみると、教えること、つまり友達がわかっていってくれることは、なかなか嬉しい体験だったのです。もしかしたら、僕の周りの、心に不安なんてなさそうに見える先生たちにも、僕のような混沌期があったのでしょうか。

今日、10年後20年後の将来の僕がどこで何をしているのかを断言する自信はありません。僕の前には払拭すべき不安や、乗り越えるべき壁がたくさん立ちはだかっているからです。ですが、最近生まれた大事な夢を、今の僕は大切にしたいとも感じています。

足元に転がる、行く手を阻む不安や心配をひとつずつ乗り越えていく準備をする時が迫っています。逃げない自分、立ち向かう強い心が欲しいです。同時にそれは、自分自身でしかつかめないものだというのかもわかっています。何度もくじけ、投げ出したくなるのかもしれませんが。僕の未来に何が待っているのか、口で言うほど簡単ではないでしょう。しかし・・・「挑戦なくして成功なし」です。

10年後、いや20年後の僕が、もしかしたら「学校の先生」として、この会場にいることを想像したりして、最後の豆酸中学生である僕は、今日から、立ち向かっていきます。

※原文のまま掲載

## 第25回対馬少年の主張大会結果

最優秀	豆酸中2年	勝井 福
優 秀	久田中2年	田中 陸翔
優 良	雞知中1年	荒川 いま
入 選	佐須奈中2年	田代 芽生
入 選	西部中2年	米田 諒聖
入 選	東部中2年	濱辺 美音
入 選	比田勝中2年	國分 彩妃
入 選	仁田中2年	小宮 優歌
入 選	巖原中2年	堀田 蒼真
入 選	大船越中2年	舍利倉 悠翔
入 選	豊玉中2年	小森 夏帆

(敬称略)